

2019「先生のがっこう」
不登校・登校拒否からの回復と成長
11月9日(土)14:00～
和泉ミセ1階中集会室
山口妙子さん(おおさか教育相談所)

泉北教育

NO.2150 2019.9.24
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

府教委 小5統一テスト実施を画策 学校教育ゆがめるテストを増やすな

9月2日付新聞各紙に、「大阪府教委は、(全国学テに合わせて)小学5年対象の統一テストを21年度から実施することを決めた。」(毎日)「令和3年度から小学5・6年を対象にした『府小学生力だめしテスト(仮称)』の実施を検討。」(産経)との報道が掲載されました。

教育委員の会議(8月20日・9月18日)とはタイミ

市町教委は「参加しない」との判断を
同時に「実施は各市町村教委の判断に委ね、意見も聞いたうえで制度設計する。」(毎日)「参加は市町村教委の任意(産経)とも報道されています。

が「教育は競争」と叫び、維新府政が府教委に実施強行させた「府学力テスト」に和泉・高石両市教委は「地域や自校を愛する心を育てようとする市の教育方針にそぐわない。」と参加されなかった経験(2012年6月)があります。今回も各市町教委に対し「参加しない」との判断を求めたいと思います。

中学校テストは 評価ルール変更

同時に中学校チャレンジテストの評価ルールの変更も報道されました。ルールの中で「最悪」の「一回のテストの点数によって、年間評価が変更されてしまう制度」は無くなりませんが、他の弊害は残されたままです。

今後私たちは、チャレンジテストそのものを廃止することを求めていきます。



府学力テスト不参加を報道する
2012.4.17付泉北教育

原水爆禁止世界大会に参加して③

色濃く残る 原爆の爪痕

くを流れる澄んだきれいな川も水を求めた死体がたくさん浮いていたそうです。

そんな話を聞いた後、小グループに分かれて碑めぐりを行いました。最初に向かったのは浦上天主堂。爆心地からわずか500m離れた場所にある建物です。その建物を向かいの山から見たのですが、家がいくつも並び、とてもこの辺り一帯が何もない焼け野原となったことを想像出来ませんでした。浦上天主堂は原爆の傷をそのまま残している、どれほどの威力があったのか分かりません。鉄筋コンクリートの建物がどろどろに溶け、吹き飛ばされ、残った部分も何もない程の威力なのですから、生き物が無事でいられる訳ありません。近



その後は戦時中放射能を研究し、自身も被爆・重傷を負っているにもかかわらず救済活動を行い続けた永井博士の記念館と「如己堂(にょごどう)」に向かいました。この如己堂の名前の由来は「己の如く人を愛せよ」だそうです。「医師」そして「人」として他者への愛情深さに同じ人として尊敬するなと思いました。永井博士は、「日本国憲法」の施行を歓迎し「平和塔」という著書に、「今度こそ本気でみんなが戦争を起こすまいと考えたことはなかった。(中略)憲法で戦争を放棄すると言いきったのであるから、人々の心の中から戦争をすっかりなくしてしまわなければならぬ。」と書いています。いかに戦争が人々を苦しめたのかがわかります。

【高南中・笠松弥央】

子どもと学校を追い詰める「新学習指導要領」は抜本的見直し。「チャレンジテスト」は廃止。